

公民館等職員研修

「種」から住民とともに育てる事業づくり

R3・6・29(火)

第3回

「事業実施に向けての悩みをみんなで解決」

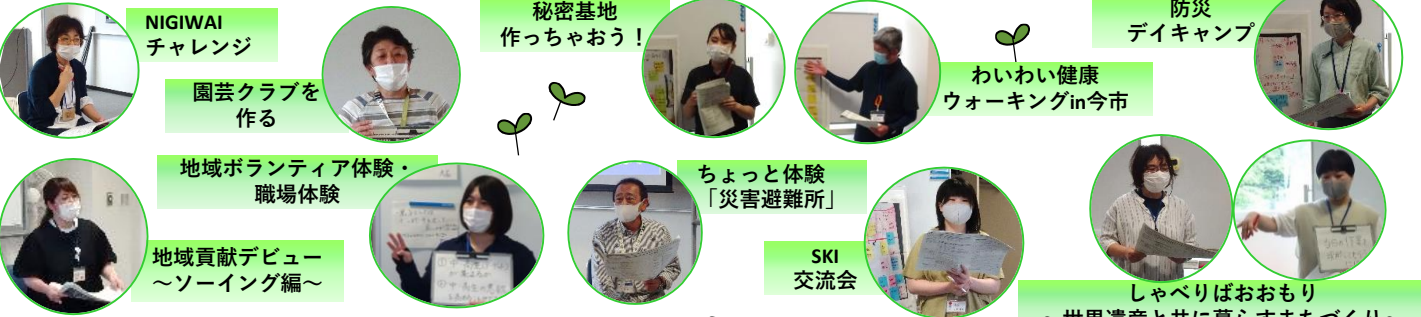


“黒子”登場！
受講生を影から支えます

演習④「事業計画案についての情報交換」

「事業を進めるにあたっての困り感の共有と解決方法の模索」

◇事業計画についての情報交換



◇困り感の共有と解決方法の模索

中高生の集め方は？	・目につくチラシを！！ ・学校のホームルームでPR ・申込は、電話より高校生が気軽に申し込める方法に	情報交換会での話し合いの進め方・注意点は？	・円卓で ・自己紹介をする ・ある程度の脱線もいいのでは ・困り事の共有（ハラを割る） ・「今日のテーマ」を板書する
ターゲットの意欲を高める工夫？	・ターゲットの技能を生かす ・負担にならない程度の負荷を ・ターゲットからアイデアを聞く	主体的に動いてくれるか？	・担当者との関係づくり・働きかけ（電話・声かけ・お願い・お礼の言葉）
黒子としてどこまで手を出していいの？	・ある程度はOKでは ・フォーマット利用で負担軽減	今の事業内容だと弱い？	・内容の工夫 ・他の内容と結びつける
楽しい会になるか心配	・事業に関連したお楽しみを設定	興味ある呼びかけは？	・たよりを通し、事業に対する思いを伝える ・お得感をだす ・デザイン募集

【講義】「事業の評価と対象者の見取り」

事業評価の意義

- ・なりゆき任せの事業展開を回避することができる
- ・説得力のある予算立てができ、新たな財源の確保ができる

- ・成果を予測するので、優先順位がつけやすく無駄が省ける
- ・評価→改善により、次年度の事業がより効果的・効率的になる

事業評価のポイント

1. ねらいは、具体的で整合性のとれたものに

- ①計画等の「基本理念」や「重点目標」に迫るねらいを！
- ②「だれが」「～によって」「どうなる」が基本
- ③「具体的に、評価できるもの・達成できそうなもの」

2. 視点と指標は、具体的に、前もって

- 「評価の視点」の作成にあたって
- 何を評価するのか、本当に評価できるのか、欲張っていないか

□「評価指標」の作成にあたって

『評価の視点』を測る“ものさし”。数値で表すと効果的だがそればかりではない。一般的な指標と、アイデア指標（キーワード出現数、リピーターなど）を取り入れて評価する

3. 住民の主体的な動きを促すための評価を

- ①判定や測定ではなく、自己評価・反省を導く
- ②自己反省に基づいた次の“やる気”を引き出す
- ③ふりかえりの内容を整理分析し、次ぎにつなげる

【演習⑤】「評価指標の作成」

「ターゲットに期待する思い」を評価するための指標を考える
(事業を計画している時、事業を準備している時、事業の当日に分けて)

【ふり返り】

今日の研修での気づき

【説明】「事業の記録について」

記録・広報・発表のための具体的な資料集めをする
目的…事業成果の見える化

【演習⑥】「事業計画案の今後の見通し」

- (1) 事業計画案の見直し…評価を考えた上でのねらいや計画の修正
- (2) 今後の見通し…今後の事業の進め方を見通し具体的な動きについての個別相談

計画を立てる

相手の立場にたって取り組む

ふりかえり→やる気 次につなげる

楽しい 達成感

悩む

評価の在り方

迷子 も学ぶ

達成感

乗り越える

ねらい 手の届くように

めんどくさいことをやってもらう

計画通りに行かないかも知れないが、着地点をめざして

